



平成 26 年 11 月 13 日

各 位

会社名 大同メタル工業株式会社
代表者名 代表取締役会長兼最高経営責任者 判治 誠吾
(コード：7245 東証一部、名証一部)
問合せ先 取締役常務兼上席執行役員
経営・財務企画ユニット長 佐々木 利行
(TEL. 052-205-1403)

「中期経営計画」の進捗状況及び見直しに関するお知らせ

当社は2012年2月に公表した2012年度から2017年度までの中期経営計画「Together To The Top ～ともにトップを目指そう～」の第2ステージ（2015年度～2017年度）における経営活動計画の見直しをこの度実施いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、同中期経営計画のビジョン・基本方針につきましては、当初計画どおり変更はございません。

記

1. 中期経営計画ビジョン

すべり軸受の全分野において世界市場でトップシェアを獲得し、世界で存在感のある大同メタルグループを目指す。

2. 中期経営計画「Together To The Top ～ともにトップを目指そう～」の概要

中期経営計画の基本方針：

「大同メタルグループが一丸となり、全分野でともにトップを目指そう」とのスローガンの下、第1ステージ（2012年度～2014年度）をトップシェア実現のための事業基盤構築期間とし、第2ステージ（2015年度～2017年度）で全分野での世界トップシェアを実現する。

第2ステージの目標：

すべり軸受の全分野での世界トップシェアを実現する

- ・自動車エンジン用及び船用低速エンジン用 世界トップシェアの堅持、更なる拡大
- ・船用・産業用中高速エンジン用 世界トップシェアの実現
- ・スモールターボ用 世界トップシェアの実現
- ・ポリマー軸受、産業用高速回転機用軸受 世界トップシェアの実現
- ・グローバル経営体制の確立

3. 中期経営計画の第1ステージ（2012年度～2014年度）における主な取組み実績

<生産・販売・開発のグローバル体制の構築>

① グローバル生産体制の確立

ダイナメタル CO., LTD. (タイ) の第3工場・大同精密金属(蘇州) 有限公司の第2工場・大同メタルチェコ s.r.o.の第2工場・PT.大同メタルインドネシアの第2工場の増設稼働、同晟金属(株)(韓国) のメッキ工場の移転稼働、大同インダストリアルベアリングジャパン(株) 及び大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.の設立稼働

② グローバル販売体制の整備

大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.の設立、大同メタル U.S.A. INC. (米国) の現地本社機能の移転(オハイオ州ベルフォンテンからミシガン州デトロイト郊外への移転)

③ グローバル開発体制の確立

欧州テクニカルセンター(設計・開発・技術サービスの提供) をチェコに設置

<非自動車分野の開拓強化>

① 非自動車事業部門の強化・新設

第2 Co 内 TMBS 部(回転機械用特殊軸受事業)、第4 Co(金属系無潤滑軸受事業) の新設

※ Co は社内カンパニーの略称

4. 中期経営計画実現に向けた第2ステージ（2015年度～2017年度）での具体的な取組み

① 環境対応

・「環境に優しい生産」、「環境に優しい製品」、「環境に貢献する製品」の実現

② 生産

・インドに於ける自動車用エンジン軸受事業、ロシアに於けるトラック用エンジン軸受事業の立ち上げ

・バイメタル(軸受材料) 生産能力の増強

③ 販売

・グローバル販売体制確立のための国内外の更なる組織体制強化

・非自動車分野での開拓・拡販要員の増強

④ 開発

・海外開発拠点の強化並びに組織体制の整備

・技術優位性持続のための研究開発強化

・新製品、新事業の確立

⑤ 財務

・強固な財務基盤の構築により、格付け“A”の取得

5. 経営目標

＜見直し後目標＞

	第1ステージ最終年度-2014年度- 《予想》	第2ステージ最終年度-2017年度- 《目標》
売上高	800億円 (800億円)	1,110億円 ＜2014年度見込み比39%増＞
営業利益	78億円 (112億円以上)	167億円以上 ＜2014年度見込み比114%以上増＞
営業利益率	9.8%(14%以上)	15%以上

※ 括弧（ ）内は、第1ステージ最終年度の当初計画時の目標値

※ 第2ステージ最終年度（2017年度）の目標値に変更はございません。

第1ステージ最終年度（2014年度）の業績につきましては、売上高は当初目標を達成可能と見込んでおります。しかしながら、大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.等への先行投資等に伴う費用負担の増加に加え、非自動車用軸受（船用等）の市場環境悪化等による影響から、営業利益につきましては当初目標を下回る予想でございます。

上記の将来の業績に関する目標経営数値は公表時点でのリスク要因を織り込んでおりますが、実際の業績等は国内外の経済情勢、材料の価格動向、他社との競合、テクノロジーの変化、為替変動をはじめとする様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上